伝統文化伝承のため、助成金贈呈

５月29日、明治安田クオリティオブライフ文化財団助成金の贈呈式がありました。

対象団体は、かみや民藝店（城崎）で、神谷俊彰さんによる麦わら細工後継者育成活動のための作業台購入費に対する助成です。

人口減少が進む中、地域の伝統文化の保存や継承、伝承者の育成は、大きな地域課題です。

神谷さんは、麦わら細工の伝承者が相次いで引退し存続が危ぶまれる中、地域おこし協力隊等の受け入れを通じて後継者育成に取り組んでいます。

2025年度、本事業は全国から174件の応募があり、そのうち57件が助成対象として決定しました。中でも、技術に関する応募は全国で５件程度で非常に稀少とのことです。

▲神谷さんは「助成により体に合った作業台を購入することができました。育成に励みます」と、話しました。

《問合せ》
文化・スポーツ振興課
文化財室☎21-9012

未来へつなぐ農業のかたち　環境創造型農業サミットを開催

６月７日、市民会館で「環境創造型農業」をテーマにしたサミットを開催しました。

環境にやさしい農業に取り組んでいる４つの自治体（兵庫県・豊岡市・新潟県・佐渡市）が連携し、これまでの取組みの大切さや意義を再確認しました。

サミットでは、環境学習で交流を続けてきた市立田鶴野小学校と佐渡市立行谷小学校の児童らが、それぞれの地域の取組みを紹介。田鶴野小学校の児童らは、コウノトリの絶滅には農薬の使用も関係しているとし「無農薬米や減農薬米を増やせば、環境や生きもの、人にも優しい田んぼが拡がる」と訴えました。

最後に、４つの自治体が核となって生産と消費の両面から「環境創造型農業」を一層進めることを、両知事と両市長が共同して宣言しました。

▲田鶴野小学校の児童らは「地球環境やコウノトリの未来のための行動」を考えて提案した

《問合せ》
農林水産課☎23-1127

市政ニュース

～主な市政の動き～

【5月】
23日
・北但大震災100年
29日
・明治安田クオリティオブライフ文化財団助成金贈呈式

【6月】
7日
・環境創造型農業サミット
8日
・台風23号メモリアル水防訓練
14日
・山陰近畿自動車道「竹野道路」起工式

大雨や台風などに備え
命を守るため避難行動の確認を

　大雨や台風の季節を迎えました。近年、これまでにない規模の豪雨が、全国各地で甚大な被害をもたらしています。
　円山川の下流に位置する豊岡盆地周辺は、緩やかな勾配のため、氾濫が起こりやすい地形です。一方、山間部は、崖崩れ、地滑り、土石流などが予想される区域に人家が多数存在しています。
　風水害での被害を最小限に抑えるため「自分たちの命は自分たちで守る」という心構えのもと、各世帯で「マイ避難カード」を作成するなど、日ごろから家族で避難行動を十分に確認してください。

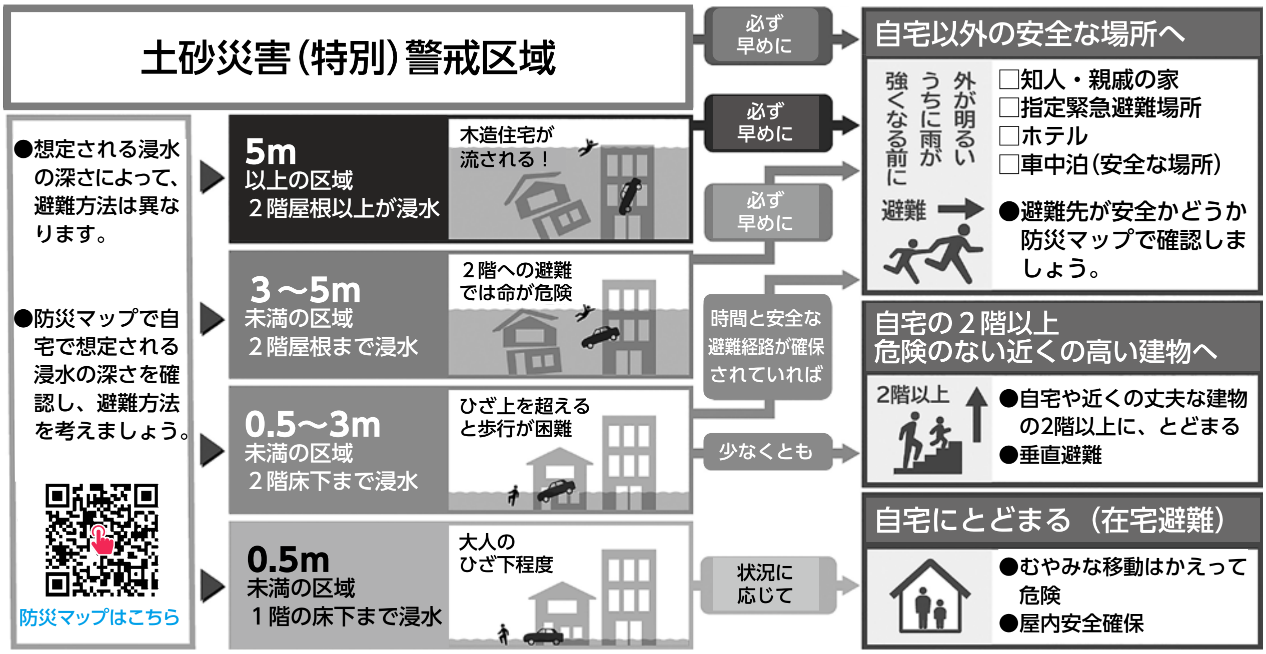
各家庭でマイ避難カードを作ろう

　マイ避難カードとは、災害の危険が迫っている時に「いつ」「どこに」「どのように」「誰と」避難するのかを、あらかじめ自分（世帯）で決めておき、自宅内の普段から目につく場所に貼っておくなど、いざという時の避難行動に役立てるためのカードです。

マイ避難カードの作成方法はこちら▶

1 自宅の災害リスクを確認し、事前に避難先を決めておく

　下の図を参考にして、防災マップで想定される自宅の災害リスクを確認し、事前にどこに避難するかを家族で決めておきましょう。



2 事前に避難するタイミングを決めておく

　逃げ遅れを防ぐため、防災マップを確認し、自宅の浸水が想定される区域や土砂災害警戒区域内にある方は、下の図を参考にして、避難先へ避難を開始するタイミングをあらかじめ家族で確認しておきましょう。

自身または一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか？

【はい】➡ （警戒レベル３）高齢者等避難が出たら避難開始

【いいえ】➡ （警戒レベル４）避難指示が出たら避難開始

市からの避難情報にかかわらず、雨の降り方から危険を感じたら早めに避難しましょう
高齢者の方、避難に時間を要する方は、早めの避難を心掛けましょう

《問合せ》危機管理課☎23-1111